

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 リールスメイト東向島

保護者等数(児童数) 38 回収数 18 割合 47 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	15	3	0	子どももちょうどいいと言っていた	
	②	職員の配置数や専門性は適切である	11	6	1	子供がケガをしても知らないことがある。専門性は不明	ご意見も踏まえ適切な対応に努めます
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	12	4	2	必要性がない設置されていない	トイレ内のみバリアフリーとなっております
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	15	3	0	毎回違った内容で食育やおでかけで楽しそうです。	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	18	0	0	外出も多く、子供も楽しんでいる	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	12	3	3		
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	3	0	外出等で別途お金がかかる場合はメールで連絡が来ます	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができています	16	2	0	いつも丁寧である	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	16	1	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	5	11	一度もありません	今後は検討していきます
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	6	0	苦情があったと聞いたことがないのでわかりません	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	17	1	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	16	2	0	ホームページのブログがとまっているので、更新して欲しいです。	ご意見も踏まえ定期的な更新を行っていきます
	⑭	個人情報に十分注意している	18	0	0		
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	9	6	3	マニュアルがあるのかわかりません	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	9	6	3	利用日数が少ないので、利用日以外で実施している様でした。(HP見ました)	活動カレンダーで確認できるようにしていきます

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	17	1	0		
	⑱	事業所の支援に満足している	16	2	0		

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 リールスメイト東向島

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	2	2	0		
	②	職員の配置数は適切である	0	1	3		多くの媒体を使用し、 職員の募集を行っている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	2	1	1		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	3	1	0	日々の振り返りを行 うことで 支援内容の共有を 図っている	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	2	2	0		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	3	1	0	リールスブログ、リ タリコブログを活用 し公開している	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	0	0	4	社内に監査課があ りそれにより評価 を受けている	内部監査以外の外部評価 を検討していく
適切な 支援	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	3	1	0	定期的に社内研 修を行っている	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	0	丁寧なアセスメント に取り組んでいる	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	2	1	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0	全職員参加のミー ティングで話し合っ ている	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	0	0	活動カレンダーを作 成しマンネリ化にな らない工夫をしている	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	3	1	0	休日は外出活動 に力を入れている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の 提 供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2	0	自由時間の中に個別活動の時間を組み込んでいる	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	2	2	0	事前に活動内容、注意事項等を共有し確認している	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	1	気付いた点は話し合い、次の支援に繋げている	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている 定期的にモニタリングを行い、放課後等	2	1	1	日報や共有ノートに記録している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑱	サービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	2	0		定期的にガイドラインの確認を行ってきたい
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2	0		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	1	0	学校情報は保護者の方から連絡をいただいている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				受け入れていない	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	0		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	0		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	1		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2	1	イベント等で年1、2回の交流がある	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	2	0		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	0	送迎時や連絡帳等で共有したり必要があれば来所していただいている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	0		
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0		
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	0	送迎時や連絡帳等で共有したり必要があれば来所していただいている	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	1		今後は検討してきたい
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	職員全員で共有し対応している	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	0	毎月「活動カレンダー」を配布している	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑳	個人情報に十分注意している	4	0	0		
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	4	0	0		
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている	3	1	0		
非常時 等の 対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	2	2	0	定期的に研修して いる	
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	2	2	0	年2回訓練を実施 している	
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	4	0	0	年2回研修を実施 している	
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し理解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	4	0	0	現在該当する方は いないが職員全員 が共有済みでマ ニュアルも置いて ある	
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	3	1	0		
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	2	2	0	振り返り時に共有し 記録している	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所名

リールスメイト東向島

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を図るため、保護者や地域社会と力を合わせて子どもを主体とした福祉の推進に積極的に取り組みます。											
支援方針		多様な活動・体験機会の提供を通じて、現在抱える子どもの困り事や生き辛さを改善し、子ども達が自分らしく生き抜く力を育み支える。											
営業時間		平日 土・祝・長期休暇	13 (10)	時	0	分から	18 (16)	時	0	分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	事業所スタッフにより来所時の健康チェック、来所時や飲食前、トイレ使用後等の手洗い等を通じ、健康を保持しつつ活発な活動参加ができるよう支援。 ご利用児童の特性に合わせ、構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援により、安心・安定して通所・活動できるよう支援。 保護者との密接な連絡調整と連携により、定期的なご利用を促進し、児童本人の生活リズムの形成・安定を図る。											
	運動・感覚	ストレッチ・体操・サーキット活動等の提供により、姿勢および運動や動作の基本的技能を維持・向上を促進。 音楽に合わせて身体を動かす活動等の提供により、児童が保有する聴覚・視覚・触覚など感覚を刺激し、十分に活用することを促進。 (児童ひとりひとりの身体の状態に合わせ必要な場合)活動時間中に適切な姿勢保持装置や車いすを活用することで、姿勢の保持や移手段の確保を図る。											
	認知・行動	支援スタッフが児童ひとりひとりの認知の特性を理解・把握するよう努め、それらを踏まえて児童が自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援。 粘土細工などの創作活動の提供により、児童が視覚・触覚・嗅覚などを通じて物の形や色・重さが変化していくことを体感し、認知機能の発達を促進。 外出（散歩）活動の提供により、児童が季節の移り変わりによる様々な変化を自ら体感することで、過去の情報と照合しつつ環境の状況や変化を把握・理解できるよう支援。											
	言語 コミュニケーション	はじまり（終わり）の会等の機会を通じ、コミュニケーション（言語・非言語のやり取り）により、相手の意図を理解することや自分の考えを伝えられるよう支援。 活動中の意図的な声掛け等により、ご利用児童ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援。 散歩活動中等の声掛けにより、個々に合わせた環境設定により相手と同じものに注意を向け、徐々にその行動や意図を理解していくことを促進。											
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係形成の促進。 感覚機能や運動機能を刺激する集団活動（例：ダンス活動等）の提供により、他の児童と活動に参加することの楽しみを感じることで、社会性を促進。 ご利用児童ひとりひとりの関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援。											
家族支援		ご利用児童を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施。児童の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報交換を実施。						移行支援		学童保育を併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援。希望の進路先を見据えた本人・保護者等との相談援助を実施。			
地域支援・地域連携		ご利用児童がスムーズな生活を送れるよう、通学先の学校の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携の実施。						職員の質の向上		年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。			
主な行事等		春探し（4月）、工作week（5月・6月・11月・2月）、水遊び（7月・8月）、夏祭り（9月）、ハロウィンweek（10月）、クリスマス会（12月）、初詣（1月）、外出（毎月）											